令和2年度
「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」
総　会

日　時：令和3年3月29日（月）13：00～14：30

方　法：同期型遠隔（Zoom）開催

主　催：四国地区大学教職員能力開発ネットワーク（SPOD）

令和２年度「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」総会次第

日　時：　令和３年３月２９日（月）１３：００～１４：３０

方　法：　同期型遠隔（Ｚｏｏｍ）開催

開　会

会長挨拶　大橋　裕一　学長（愛媛大学）

【議　題】

１．令和２年度「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」事業の総括について　【資料１】

２．令和２年度事業収支及び会計監査について　【資料２－１～３，参考資料１】

（１）令和２年度事業収支について

（２）令和２年度会計監査について

３．「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」への新規加盟について

【資料３－１～２，参考資料２～３】

４．共同事業契約書の終了及び再締結について　【資料４，参考資料４】

５．令和３年度事業計画について　【資料５】

６．令和３年度事業予算及び令和３年度共同事業契約における役割分担等について

【資料６－１～２，参考資料３～４】

（１）令和３年度事業予算について

（２）令和３年度共同事業契約における役割分担等について

７．ＳＰＯＤ事業評価委員会委員について　【資料７，参考資料５】

８．役員の改選について　【資料８－１～３】

閉　会

令和2年度「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」総会資料一覧

資料1	令和2年度「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」事業の総括について	P. 1
資料2－1	令和2年度「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」事業収支報告書（案）	P. 14
資料2－2	令和2年度「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」事業経費支出内訳（案）	P. 15
資料2－3	監査報告書（写）	P. 19
資料3－1	四国地区大学教職員能力開発ネットワークへの新規加盟について（申請）（せとうち観光専門職短期大学）	P. 21
資料3－2	四国地区大学教職員能力開発ネットワーク規約　別表第1（第4条関係）の変更について	P. 22
資料4	共同事業契約書の終了及び再締結について（案）	P. 23
資料5	令和3年度SPOD事業計画（案）	P. 30
資料6－1	令和3年度「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」事業予算（案）	P. 32
資料6－2	令和3年度共同事業契約における役割分担等について（案）	P. 36
資料7	SPOD事業評価委員会委員	P. 40
資料8－1	「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」役員等の改選について（案）	P. 41
資料8－2	「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」における監事の選出について（案）	P. 42
資料8－3	「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」役員名簿（令和3年4月1日現在）（案）	P. 43

参考資料1	「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」会計監査実施要領	※議題2参考資料	P. 44
参考資料2	せとうち観光専門職短期大学　2021年度大学概要（抜粋版）	※議題3参考資料	P. 45
参考資料3	四国地区大学教職員能力開発ネットワーク規約	※議題3，6参考資料	P. 48
参考資料4	共同事業契約書	※議題4，6参考資料	P. 52
参考資料5	「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」事業評価委員会要項	※議題7参考資料	P. 61

四国地区大学教職員能力開発ネットワーク
SPOD = Shikoku Professional and Organizational Development Network in Higher Education

令和2年度
四国地区大学教職員能力開発ネットワーク
事 業 総 括

「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」
総　会

令和3年3月29日

四国地区大学教職員能力開発ネットワーク
企画・実施統括者　　小 林　直 人
（愛媛大学学長特別補佐／教育・学生支援機構 教育企画室長）

内　　容

1. SPOD事業の概要
2. SPODの運営体制
3. 令和2年度事業の総括
   （1）「コロナ禍」対応
   （2）各事業の取組の成果
   （3）事業評価
   （4）総括

1. SPOD事業の概要

四国地区の高等教育機関が連携してネットワーク事業を展開することにより，域内のFD／SD事業の効率化，高度化，実質化を行うとともに，学生の豊かな学びと成長を支援する実践的力量をもった高等教育のプロフェッショナルを輩出し，教育の質の保証を図ることを目的に平成20年10月に設立

- 平成23年度から自主運営体制により事業を継続
- 平成30年に設立10周年を迎え，現在12年目。
- 四国地区の高等教育機関34校が加盟
  （令和2年4月に高知学園大学が新規加盟）
- FD・SDにおける地域間大学連携のモデル事業
- 加盟校の教職員延べ約2，000名（3割程度）がSPODプログラムに参加（※令和2年度実績）

3

2. SPODの運営体制

SPOD役員名簿

（令和3年1月1日現在）

会　長	大橋裕一	愛媛大学長
副会長	野地澄晴	徳島大学長
副会長	筧　善行	香川大学長
副会長	櫻井克年	高知大学長
監　事	井伊久美子	香川県立保健医療大学長
監　事	新井英夫	松山大学長

企画・実施統括者　小林直人
愛媛大学学長特別補佐　教育・学生支援機構 教育企画室長

4

SPOD加盟校

【愛媛】13校

（大学⑦）
愛媛大学（国），　愛媛県立医療技術大学（公）
聖カタリナ大学（私），松山大学（私），松山東雲女子大学（私）
岡山理科大学獣医学部（私），人間環境大学松山看護学部（私）

（短期大学④）
今治明徳短期大学（私），　松山東雲短期大学（私）
松山短期大学（私），聖カタリナ大学短期大学部（私）

（高等専門学校②）
新居浜工業高等専門学校（国），弓削商船高等専門学校（国）

【香川】6校

（大学③）
香川大学（国），香川県立保健医療大学（公）
高松大学（私）
※徳島文理大学香川キャンパス

（短期大学②）
香川短期大学（私），高松短期大学（私）

（高等専門学校①）
香川高等専門学校（国）

34校（四国地区の高等教育機関）が加盟

大学19※，短期大学10，高等専門学校5　（令和2年4月現在）

※四国地区に一部の学部等を置く大学を含む。この場合，学部等単位での加盟となる。

【高知】7校

（大学⑤）
高知大学（国），高知県立大学（公）
高知工科大学（公），高知学園大学（私）
高知リハビリテーション専門職大学（私）

（短期大学①）
高知学園短期大学（私）

（高等専門学校①）
高知工業高等専門学校（国）

【徳島】8校

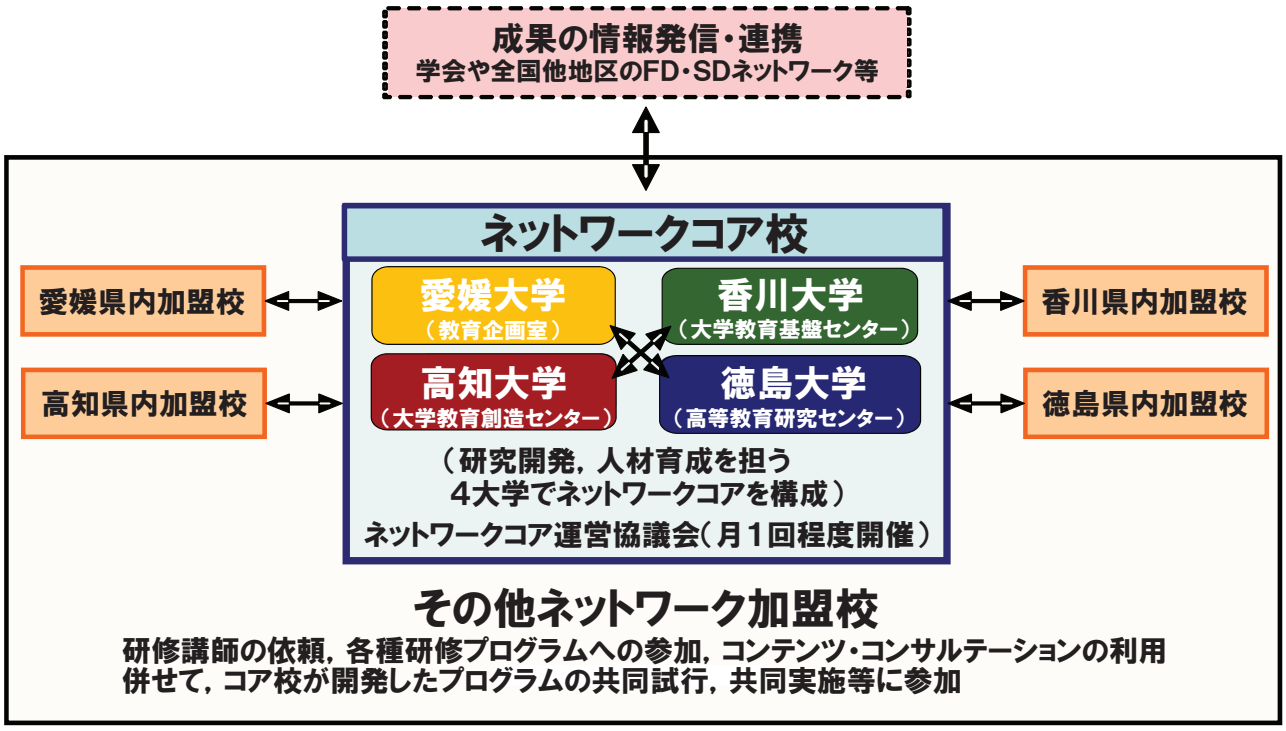
（大学④）
徳島大学（国），鳴門教育大学（国）
四国大学（私），徳島文理大学（私）

（短期大学③）
四国大学短期大学部（私），徳島工業短期大学（私）
徳島文理大学短期大学部（私）

（高等専門学校①）
阿南工業高等専門学校（国）

5

ネットワーク運営体制

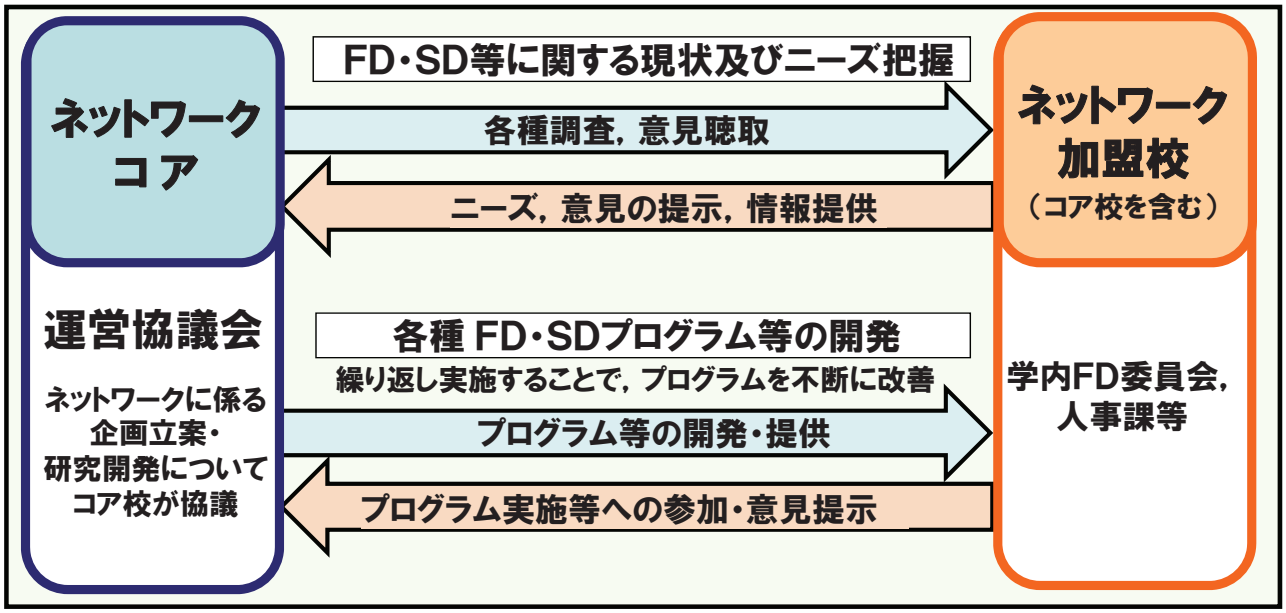


【四国地区大学教職員能力開発ネットワーク】

6

【 連携内容 】

① ネットワークコア，加盟校間での連携



② 加盟校相互での連携

研修講師派遣，先進事例実地調査，遠隔会議システム等を活用した
情報交換 等

7

3. 令和2年度事業の総括

（１）SPODの活動における「コロナ禍」対応

＜事業の実施と変更＞

1. SPOD共通事業
   - SPODフォーラム → 開催中止
   - SPOD内講師派遣
     → 予定どおり実施5件，遠隔開催に変更18件，中止2件／全25件中
   - FD／SDに関する調査・研究 → 予定どおり実施
   - 情報提供サービス
     → 研修プログラムリーフレットの発行中止，HP上で最新情報を提供
2. FD事業
   - 新任教員研修 → 一部の実施校では遠隔開催に変更，対象を限定
   - ティーチング・ポートフォリオ作成ワークショップの実施 → 対象を限定
   - 各種FDプログラムの開発・実施 → 大半を遠隔開催に変更
3. SD事業
   - 大学人・社会人としての基礎力養成プログラムの実施
     → 新任職員，レベルⅡ・Ⅲは遠隔開催に変更，レベルⅠは開催中止
   - 次世代リーダー養成ゼミナール → 開催中止

9

（１）SPODの活動における「コロナ禍」対応

＜会計面での対応＞

- 第1回ネットワークコア運営協議会（４月23日～５月８日開催）で「SPODフォーラム2020」の中止を決定
- 並行してネットワーク年会費の徴収を一時停止し，必要経費を再計算
- 前年度の約4割まで縮小した新予算案を，臨時総会（８月17日～８月31日開催）で承認
- 9月以降，新予算案に基づくネットワーク年会費を加盟校から徴収

＜次年度に向けての検討＞

- 第5回ネットワークコア運営協議会（12月7日開催）で，「SPODフォーラム2021」のオンライン開催を決定
- 第7回ネットワークコア運営協議会（２月22日開催）で，次年度の「次世代リーダー養成ゼミナール（対面とオンラインを組み合わせたハイブリッド形式）」等のSD研修の開催を決定
- 「コロナ禍」を契機に経費を見直し，予算の適正化を検討

10

（2）各事業の取組の成果

1. SPOD共通事業

①SPOD内講師派遣プログラムの実施
②FD／SD調査研究の実施
③情報提供・広報活動

2. FD事業

④新任教員研修の開発・実施
⑤教育業績記録（ティーチング・ポートフォリオ：TP）の実施

3. SD事業

⑥SDプログラムの体系的・段階的・継続的実施

4. SPOD運営

⑦ネットワークコア運営協議会／県内加盟校会議

① SPOD内講師派遣プログラムの実施　共通事業

・SPODに加盟するメリットとして，40以上のプログラムの中から各加盟校が希望するプログラムについて，研修講師を1法人あたり年1回無料で派遣

■令和2年度SPOD内講師派遣プログラムの実績

【派遣機関：23機関，派遣講師：14名，受講者数：996名】

・各加盟校におけるFD・SD活動等の方針に沿った活用ができるよう，実施プログラム決定にあたって事前調査を実施。
・四国大学・四国大学短期大学部と徳島工業短期大学では，相互参加を実施
・近隣の加盟校で実施するプログラムに開催校以外から参加するケースも増加
・複数回開講（2回目以降の経費は加盟校負担）を希望する加盟校も増加
　→学内研修の企画・立案に活用

・加盟校からの評価が高く，特に小規模校の参加率が高い。
・教育改善や組織への波及効果が示唆される。
　→ 各校の実情に即したプログラムを提供できるよう見直しを行いながら，今後も継続的に実施

① SPOD内講師派遣プログラムの実施　共通事業

■令和2年度SPOD内講師派遣プログラム一覧 ※今年度開講プログラムに色づけ

カテゴリ	No.	プログラム名
コンサルテーション	1	SPOD課題発見コンサルテーション
カリキュラム改善	2	3つのポリシー（ディプロマポリシー，カリキュラムポリシー，アドミッションポリシー）の開発と一貫性構築手法
	3	授業アンケートを見直しませんか？～アンケートの効果的実施と活用方法～
授業改善・教授法	4	カリキュラム評価の基礎知識
	5	カリキュラムの編成の原理
	6	学生の学びを促すシラバスの書き方
	7	もっとわかりやすくするグラフィック・シラバスの作成方法
	8	学生の学ぶ意欲を引き出す授業とは？
	9	受講生が楽しく集中して参加する授業の雰囲気作り
	10	大人数講義を魅力的にするテクニック
	11	アクティブ・ラーニング入門
	12	アクティブラーニング実践（成功のためのアイスブレイキング）
	13	アクティブラーニング実践（だれでもできる！グループワークのためのファシリテーション）
	14	効果的なeラーニングの活用方法
	15	基礎から学ぶ学習評価法
	16	ティーチング・ポートフォリオ入門～教育実践のリフレクション～
高専向け	17	高専教育スキルの共有と伝承 ー私たちは，いかに学生を育むのかー
	18	今すぐ役立つ授業Tips アクティブ・ラーニングのスタート
業務改善	19	職員のための企画力養成講座
	20	若手・中堅職員のための判断力・決断力養成講座
	21	インストラクショナル・デザイン（ID／教育設計）を活用した企画・立案マネジメント
	22	コーディネート力養成講座
	23	マインドマップ入門講座 （3時間）
業務改善	24	フィードバック入門（3時間）
	25	後輩の成長を促すコーチング
	26	リーダーシップ入門
	27	チームビルディング
	28	教学IR入門
	29	教学IRデータを適切に取り扱う
	30	クレーム対応実践
	31	タイムマネジメント入門
	32	職員のための経験学習
	33	組織の力を引き出す観察力養成講座
	34	やってみよう！テキストマイニング
人材育成・人事制度	35	スタッフ・ポートフォリオ入門 ～職員と大学が共に輝くために～
	36	持続可能なSDプログラムの開発手法
	37	人事人材育成ビジョンの必要性
	38	高等教育機関の職員に必要な能力と専門性
学生支援	39	学生の自立を促す学生支援の実践とコツ
	40	学生の主体性を促す学習支援
	41	現代学生の理解と関わり方
	42	障がいを有する学生の理解と支援
	43	発達障がいのある学生に配慮した授業づくり
	44	体験学習の展開方法（支え促す体験学習）
危機管理学生支援	45	危機管理ケーススタディによる、学生支援体制の構築
危機管理	46	事例から考えるハラスメント
	47	教職員のための危機管理
事例紹介	48	学生が輝くFDの実践事例

13

② FD／SD調査研究等の実施　共通事業

（1）FDに関する調査研究　※大学教育学会で成果発表を実施

・「日常の教育実践に対する新任教員研修の効果」と題して，受講者アンケート等を分析することによりFDの効果を検証

→ 研修の参加者は，一般の教員に比べてアクティブ・ラーニングや学習評価の工夫などを授業で実践している割合が高いことが明らかになった。

（2）SDに関する調査研究　※大学教育実践ジャーナル第19号に掲載

・ 昨年度，大学行政管理学会で成果発表を行った「次世代リーダー養成ゼミナール」の修了生に関する調査研究について，さらなる分析を実施

→自大学において，ゼミナールで習得した学びの還元を実践しており，ゼミナールの受講は効果的であることが明らかになった。

14

③ 情報提供・広報活動　共通事業

（1）SPODホームページ

・イベント情報のページにて，SPODが主催するFD／SDプログラムの最新情報を発信。
※今年度は新型コロナウイルス感染症による日程等の変更を考慮し，リーフレットの発行・配付を中止した。

・SPOD加盟校内の実施プログラム及び活動報告，会議の議事概要等を掲載し，加盟校内の情報共有を図る。

（2）令和2年度活動報告書

・加盟校内で実施したプログラムの実施内容・効果，各加盟校のFD／SD活動等を掲載した冊子を作成し各加盟校に配付。

・事業評価委員会の資料としても活用し，同内容をホームページに掲載。

15

③ 情報提供・広報活動　共通事業

（3）SPODメールマガジン

・SPODに関する各種情報を発信。登録者約300名（全加盟校SPOD事務担当者を含む。）に対して配信。

（4）機関誌等への掲載

■ リクルート「カレッジマネジメント」（Vol. 226）
「大学人・社会人としての基礎力養成プログラム（レベルⅢ）」についてまとめた，「大学間連携によるミドルマネジメントを担う職員の研修」が掲載

■ 大学教育実践ジャーナル第19号（愛媛大学教育・学生支援機構）
「次世代リーダー養成ゼミナール修了者の行動変容に関する考察」が掲載
「ティーチング・ポートフォリオ作成WSのブレンディッド開催の実践」が掲載

SPODの成果は全国的にも注目されており，各種学会等をはじめ新聞や機関誌でもSPODの取組が取り上げられるなど，広く情報提供・発信を行っている。

16

④ 新任教員研修の開発・実施　FD事業

新任教員研修

目　的：授業の構想・設計・実施・評価に関わる一連の過程をグループワーク形式で体験し，授業実践のために必要な能力を身につける。

特　徴：どのコア校が主催する研修を受講しても同様の効果を得られるよう，**コア校間でプログラムを標準化**

実　績：各コア校主催で計4回開催，加盟校11校（延べ）から84名が参加
→ 事後アンケートでは，参加者の97.4％から「満足」の回答を得る。

・徳島大学：「反転授業」形式を取り入れる → 効率的に受講できると好評

●受講者からの声

・アクティブ・ラーニングをどのように授業に組み込むかについて理解が深まった。単に導入するのではなく，学生が本当の意味で主体となって活動ができるような動機づけの促しや実施のタイミングを学んだ。

・様々な分野の先生方との交流や，シラバス，授業計画を拝見することで講義の運営や改善点について学ぶことができた。

17

⑤ 教育業績記録（ティーチング・ポートフォリオ：TP）の実施　FD事業

「ティーチング・ポートフォリオ作成ワークショップ」

目　的：ティーチング・ポートフォリオ（TP）を作成することにより，教育力向上を目指す。

実　績：愛媛大学にて開催し，9名が参加（今年度は学内限定開催）
※2日間のプログラムのうち，初日の午前中に行うメンタリングのみ対面，以降の受講者と講師とのやり取りはオンラインで実施。

教員対象
【日　時】令和2年7月11日（土）～12日（日）
【会　場】愛媛大学　　【参加者】9名

●受講者からの声

・文字にすることで自身の教育理念や方法を整理することができたため大変有意義だった。

・自身の教育理念を振り返ることができ，自分がなぜ教育をしているのか，どうしたいのかが少しずつ明確になってきた気がした。

18

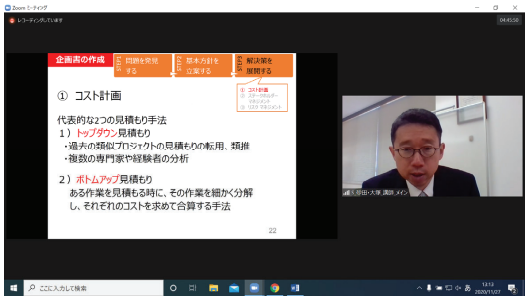
⑥ SDプログラムの体系的・段階的・継続的実施　SD事業

「大学人・社会人としての基礎力養成プログラム(新任職員・レベルII～III)」

目　的：高等教育機関の職員として一般的に求められている広範な素養を習得
実　績：コロナ禍のため，初のオンライン(Zoom)開催(計3回)
　　加盟校34校(延べ)から136名が参加　→ 満足度96．2%
※SPOD－SDC資格取得者や次世代リーダー養成ゼミナール修了生が講師を務める。

■レベルIII(9月開催)
- SD研修として，初のオンライン開催
- 受講者アンケートからは，オンライン研修についての肯定的な意見が多数見られた。

■ 新任職員研修(11月開催)
- 例年，四国4県の持ち回りで，5月に実施
- 時期を11月に変更してオンラインで開催(ホスト校：愛媛大学)し，92名が受講



SPOD-SDC資格取得者が，研修講師を担当した(Zoom)

■ レベルII(11月開催)
- 申込者多数のため，新任の係長相当級の職員に限定して実施

※Zoomによるブレイクアウトセッションを用いるなど，対面開催と遜色ない講義内容となり，概ね好評を得た。反面，人的つながりの形成については課題が残った。

19

⑦ ネットワークコア運営協議会／県内加盟校会議　運営

ネットワークコア運営協議会

コア校のFD・SD担当者等が事業の実施，運営上の諸課題等について教職協働で協議（月1回程度）

県内加盟校会議

ネットワークコア運営協議会の報告や各県内加盟校のニーズ聴取を目的として開催

【令和2年度開催実績】

■ ネットワークコア運営協議会
　：7回開催（遠隔及び書面）

■ 県内加盟校会議
　：徳島県で1回開催（遠隔）

20

（3）事業評価

SPOD事業評価委員会

目的：外部有識者の委員3名が，SPOD事業に対する評価を行い，その評価結果を基に事業を改善する。

【委 員】（任期：平成31年4月1日～令和3年3月31日）

佐藤　浩章　大阪大学 全学教育推進機構教育学習支援部　准教授
高野　　修　広島経済大学　教育・学習支援センター　センター長
伊勢戸　康　公益財団法人 大学コンソーシアム京都　事務局長

（敬称略）

【評 価】

・昨年度実施したSPOD事業の視察等を踏まえて，
オンラインにより事業評価を実施
・任期1年目（昨年度）：各委員の専門性を活かした評価　（書面）
・任期2年目（今年度）：視察等を踏まえた事業評価を実施（対面）

（3）事業評価

令和元年度の事業評価委員会委員からの意見・評価への対応

- FD・SDに関する情報発信や成果検証について，学会での発表やオンライン授業でアクティブ・ラーニングを成功させるTips（リーフレット）の作成・配付などの取組が高い評価を得た。
- 委員からの意見・評価への対応についても，一つひとつ丁寧に対応できているとの評価を得た。

令和元年度事業及び令和2年度事業などについて

- 実施形態をオンラインに切り替えるなど可能な限り研修を実施しており，「学びを止めない」姿勢をネットワーク組織としても示している。
- オンラインに向いているもの，対面でなければならないものなど，研修内容ごとに整理して次年度以降に活かしてほしい。
- 予算面でも，「コロナ禍」での事業計画変更にあわせて年度途中に必要経費の再計算を行うなど，状況に応じた対応ができている。

（4）総　括

■令和2年度事業

- 3年連続で新規加盟校を迎え，34校体制で運営
- 新型コロナウイルス感染症の影響により，
  初めてSPODフォーラムの開催中止を決定するなど，
  当初予定していた事業計画を大幅に変更
- 実施形態をオンライン開催に変更するなど，
  可能な限り研修プログラムを提供

「コロナ禍」にもかかわらず，加盟校の連携により，
今年度も様々な成果を上げることができました。
心より厚く御礼申し上げます。
令和3年度も引き続き，SPOD事業に対する
ご協力をよろしくお願いいたします。

四国地区大学教職員能力開発ネットワーク
SPOD = Shikoku Professional and Organizational Development Network in Higher Education

SPODフォーラム2021のお知らせ

【日　　時】2021年8月25日(水)～27日(金)
【開催方法】オンライン開催(Zoom)
【全体テーマ】「New　Normalの大学教育を考える」
【シンポジウムテーマ】
　「コロナ後の世界/大学教育はどう変わっていくか？」
【プログラム数】33プログラム
　　※ポスターセッションも開催

オンライン研修を受講するための環境整備等，ご協力をよろしくお願いいたします。

25

令和３年１月18日

四国地区大学教職員能力開発ネットワーク会長
（国立大学法人愛媛大学長）　大 橋　裕 一　殿

代表者職名・氏名　　学校法人 穴吹学園
せとうち観光専門職短期大学
学 長　青 木　義 英

四国地区大学教職員能力開発ネットワークへの加盟について（申請）

令和３年４月１日付けで開設予定の学校法人穴吹学園せとうち観光専門職短期大学は、四国地区大学教職員能力開発ネットワークの目的及び事業に賛同し、四国地区大学教職員能力開発ネットワークへの加盟を希望しますので、よろしくお取り計らい願います。

愛媛大学
'03.1.21
第5号

四国地区大学教職員能力開発ネットワーク規約　別表第1（第4条関係）の変更について

令和3年4月1日現在

別表第1　加盟校

徳島大学
鳴門教育大学
香川大学
愛媛大学
高知大学
香川県立保健医療大学
愛媛県立医療技術大学
高知県立大学
高知工科大学
四国大学
徳島文理大学
高松大学
聖カタリナ大学
松山大学
松山東雲女子大学
高知学園大学
高知リハビリテーション専門職大学
四国大学短期大学部
徳島工業短期大学
徳島文理大学短期大学部
香川短期大学
高松短期大学
今治明徳短期大学
聖カタリナ大学短期大学部
松山東雲短期大学
松山短期大学
高知学園短期大学
せとうち観光専門職短期大学
岡山理科大学獣医学部
人間環境大学松山看護学部
阿南工業高等専門学校
香川高等専門学校
新居浜工業高等専門学校
弓削商船高等専門学校
高知工業高等専門学校

別表第2　コア校

徳島大学
香川大学
愛媛大学
高知大学

四国地区大学教職員能力開発ネットワーク規約(抄)

附　則

1　この規約は、平成20年10月18日から施行する。

2　この規約の施行後、最初に任命される第7条第1項の代表校の任期は、同条第3項の規定にかかわらず、平成23年3月31日までとする。

3　別表は、新たな加盟校があった場合等に適宜改訂を行うものとする。

共同事業契約の終了及び再締結の合意について（案）

令和３年３月２９日
ネットワーク総会決定

四国地区大学教職員能力開発ネットワーク規約第４条第２項に基づき令和３年４月１日付けで学校法人穴吹学園（せとうち観光専門職短期大学）が四国地区大学教職員能力開発ネットワークに加盟するため，平成３０年４月１日付けで締結した共同事業契約は，令和３年３月３１日をもって終了とし，令和３年４月１日付けで共同事業契約を再締結するものとする。

「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」
事業評価委員会委員名簿（案）

任 期：令和３年４月１日～令和５年３月３１日

佐藤　浩章　　大阪大学　全学教育推進機構教育学習支援部　准教授

高野　　修　　広島経済大学　教育・学習支援センター　センター長

伊勢戸　康　　大学コンソーシアム京都　事務局長

（計３名　敬称略）

※変更なし

【参考】

「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」事業評価委員会委員（H31.4.1～R3.3.31）

※伊勢戸氏の任期は令和２年６月９日～令和３年３月３１日

佐藤　浩章　　大阪大学　全学教育推進機構教育学習支援部　准教授
高野　　修　　広島経済大学　教育・学習支援センター　センター長
伊勢戸　康　　大学コンソーシアム京都　事務局長

「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」（ＳＰＯＤ）事業評価委員会要項（抄）

（組織及び運営）

第３条　評価委員会は、大学等におけるＦＤ／ＳＤ活動に造詣が深い者をもって組織する。ただし、委員はＳＰＯＤ加盟校以外の機関に所属する者とする。

２　前項の委員は、ネットワークコア運営協議会（以下、「運営協議会」という。）の議を経て、会長が委嘱する。

「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」役員等の改選について（案）

四国地区大学教職員能力開発ネットワーク規約（以下「規約」という。）第５条，第７条，第８条及び第１２条に基づき，令和３年４月１日から令和５年３月３１日までの２年間の役員等の任期満了に伴う以下１～５の改選を行う。

なお，コア校は，規約別表第２のとおり，徳島大学，香川大学，愛媛大学及び高知大学を指す。

１．代表校／事務局（規約第７条及び第１２条関係）
愛媛大学

２．会長（規約第８条第１項，第２項，第５項及び第６項関係）
愛媛大学長

３．副会長（規約第８条第１項，第３項，第５項及び第７項関係）
徳島大学長，香川大学長及び高知大学長

４．監事（規約第８条第１項，第４項，第５項及び第８項関係）
高知工科大学長及び阿南工業高等専門学校長

５．企画・実施統括者（規約第８条第１項，第２項，第５項及び第６項関係）
愛媛大学教育・学生支援機構教育企画室長

【参考】四国地区大学教職員能力開発ネットワーク規約（抄）

（コア校）
第５条　加盟校のうち，別表第２に定める大学をコア校とする。
（代表校）
第７条　コア校のうち，１校をＳＰＯＤの代表校とする。
２　代表校は，コア校の互選により選出する。
３　代表校の任期は２年とし，再任を妨げない。
（会長，副会長，監事及び企画・実施統括者）
第８条　ＳＰＯＤに，会長（１名），副会長（３名），監事（２名）及び企画・実施統括者（１名）を置く。
２　会長及び企画・実施統括者は，代表校から選出する。
３　副会長は，代表校を除くコア校から選出する。
４　監事は，コア校を除く加盟校から選出する。
５　会長，副会長，監事及び企画・実施統括者の任期は，２年とする。ただし，再任を妨げない。
６　会長は，ＳＰＯＤを代表する。
７　副会長は，会長を補佐し，会長に事故があるとき又は会長が欠けたときは，その職務を代行する。
８　監事は，会計を監査する。
９　企画・実施統括者は，ＳＰＯＤ活動に係る企画及び実施を統括する。
１０　補欠による会長，副会長，監事及び企画・実施統括者の任期は，前任者の残任期間とする。
（事務局）
第１２条　ＳＰＯＤの事務局は，代表校に置き，加盟校の協力を得て運営にあたる。

別表第２　コア校

徳島大学
香川大学
愛媛大学
高知大学

「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」における監事の選出について（案）

四国地区大学教職員能力開発ネットワーク規約第８条に基づく監事の改選にあたっては，「コア校を除く加盟校」から２名選出（任期２年）することとしているため，以下の選出方法により実施する。

（1）　選出基準　（平成２７年３月２７日開催ＳＰＯＤ総会承認）

以下①と②を組み合わせて選出する。

①　設置形態のバランスを考慮し，コア校を除く国立又は公立（A），私立（B），高専（C）から２名を選出する。４年間でA～C全ての設置形態から選出されるようにする。

②　地域バランスを配慮し，２名を選出する。４年間で全ての県から選出されるようにする。

（2）監事の選出方法（平成２７年３月２７日開催ＳＰＯＤ総会承認）

ネットワークコア運営協議会で検討し，推薦する。

（ネットワークコア運営協議会での審議結果）（案）

監事推薦について

・令和３年１月２２日（金）開催のネットワークコア運営協議会において検討を行った。

・６期目（令和３年度～令和４年度）の監事については，選出基準①より，国立又は公立及び高専，②より徳島県及び高知県から選出することとした。

・第５期までの状況を考慮し，高知工科大学（高知県・公立）及び阿南工業高等専門学校（徳島県・高専）を推薦することとした。

・次期監事については，令和３年３月２９日（月）開催予定の令和２年度ネットワーク総会の議を経て決定することを確認した。

※1期目 松山東雲女子大学・短期大学（愛媛県・私立・四年制と短大が併設），香川高等専門学校（香川県・高専）

2期目 鳴門教育大学（徳島県・国立），高知県立大学（高知県・公立）

3期目 高松大学（香川県・私立・4年制と短大が併設），愛媛県立医療技術大学（愛媛県・公立）

4期目 徳島文理大学・徳島文理大学短期大学部（徳島県・私立・四年制と短大が併設），高知工業高等専門学校（高知県・高専）

5期目 香川県立保健医療大学（香川県・公立），松山大学・松山短期大学（愛媛県・私立・四年制と短大が併設）

【参考】

「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」における監事の選出について（抄）（平成27年3月27日開催ネットワーク総会承認）

（1）選出基準

以下①と②を組み合わせて選出する。

①設置形態のバランスを考慮し，コア校を除く国立又は公立（A），私立（B），高専（C）から２名を選出する。４年間でA～C全ての設置形態から選出されるようにする。

②地域バランスを配慮し，２名を選出する。４年間で全ての県から選出されるようにする。

（2）監事の選出方法　（平成27年3月27日開催ネットワーク総会承認）

ネットワークコア運営協議会で検討し，推薦する。

「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」規約（抄）

（会長，副会長，監事及び企画・実施統括者）

第８条　ＳＰＯＤに，会長（1名），副会長（3名），監事（2名）及び企画・実施統括者（1名）を置く。

２　会長及び企画・実施統括者は，代表校から選出する。

３　副会長は，代表校を除くコア校から選出する。

４　監事は，コア校を除く加盟校から選出する。

５　会長，副会長，監事及び企画・実施統括者の任期は，２年とする。ただし，再任を妨げない。

６　会長は，ＳＰＯＤを代表する。

７　副会長は，会長を補佐し，会長に事故があるとき又は会長が欠けたときは，その職務を代行する。

８　監事は，会計を監査する。

９　企画・実施統括者は，ＳＰＯＤ活動に係る企画及び実施を統括する。

１０　補欠による会長，副会長，監事及び企画・実施統括者の任期は，前任者の残任期間とする。

「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」役員名簿（案）

任　期　：令和３年４月１日～令和５年３月３１日

（令和3年4月1日現在）

会　　長	仁科　弘重	愛媛大学長
副会長	野地　澄晴	徳島大学長
副会長	筧　善行	香川大学長
副会長	櫻井　克年	高知大学長
監　　事	磯部　雅彦	高知工科大学長
監　　事	平山　けい	阿南工業高等専門学校長
企画･実施統括者	中井　俊樹	愛媛大学学長特別補佐 教育・学生支援機構　教育企画室長